

## 第 32 回ヘルスカウンセリング学会大会アンケート結果

### 《今大会を評価した理由》

- ・ SAT に触れることで自分の課題に気付かされる体験をしてやっぱり SAT はいいなあとつくづくそう思った。
- ・ 時代に即した IT 関係とコラボした取り組みとか、ゲーム業界に提案してみたなど、進展したものも見たかったです。
- ・ いろいろな立場の方が生の体験を伝えてくださったこと 皆さま その環境でどうするのがいいかいろんなことを考えてらっしゃる姿に感動でした。
- ・ 受けている時は気づけない事を研究してる側からの視点から話を聞けたから。
- ・ 新たな様式など進化されていることを感じました。
- ・ 興味ある内容でもあり、また事例の数々が身近にあるものだったので、関心を持って聞くことができました。
- ・ テーマは神経発達症でしたが、一般にも通じる話が多かったと感じました。他人ごとではないと思う言葉があちらこちらに飛び交っていたと感じます。
- ・ 様々な視点で発達しょうがいのがわかり、自分のこと他者の理解が促進した。
- ・ フィーリングアーツが癒された。
- ・ 学会大会のテーマが大変興味のあるものでしたので楽しみに参加させていただきました。内容全てが期待以上の学びがあり、あっという間の幸せな 2 日間でした。
- ・ フィーリングアーツの初体験。
- ・ SAT の実践を発表から学び、発表後の質疑応答で SAT の理解が深まりました。
- ・ 知らなかったことを知ることが出来たから。
- ・ 神経発達症の実際、対応について多くの事例を知ることができた。
- ・ 第一線で活躍している方々の生の体験からの発達しょうがいを持った方々への取り組みかたが学べたので。
- ・ 講演やシンポジウムで各先生方の経験や活動を伺い、社会全体に変化が起きていると実感できた。これからの方向性が見えた。
- ・ 様々な立場の方のお話を聞くことができたこと、自分にとってわかりやすかったこと。
- ・ (波があるような気はしたものの) 宗像先生のお顔と声を聞いたこと。
- ・ なんとなく、運営に関わっているスタッフの方々の熱意 ( ? というかおおらかさというか、なんといったらいいか迷いますが・・・) が伝わってきたこと。
- ・ 自分の参加の仕方が、聞くだけみたいな感じであったこと。
- ・ 都合で、全部の日程に参加することができなかったため。
- ・ 様々な角度からの発達しょうがいについて話を伺うことが出来、実りの多い時間でした。

### 《全体を通して特に印象深かった点について》

- ・ 失敗を糧にしたと語れる社会が人を育てるという言葉が印象に残りました。そのほかの発表でも病気や難しい状況が人の心の豊かさを拓く契機となること、そのための頼れるツールとしての SAT があることを再確認することができました。
- ・ 神経発達症の理解が広がってきても教育現場がまだまだ人員不足で指導に至ってない、支援に至ってないケースが多いことに驚きました。教育現場と社会が足並み揃うような活動がヘルスカウンセリングでできないものかと思いました。

- ・石田先生のワークショップがあれば受けてみたいと感じた。比護理事の親としての心の声に涙がでた。
- ・中嶋先生の発表に深く興味を持った。
- ・発達しょうがい個性であること安定する環境で力を発揮すること。大人でも同じく働ける環境を提案できるセラピストが素敵でした。
- ・実践をされている方のノウハウはインパクトがあり、聴いていてワクワクします。
- ・フィーリングアーツの想像力を掻き立て、穏やかな気持ちをもたらす光と音の芸術。
- ・フィーリングアーツで涙が沢山溢れてきたことも印象に残りましたが、2日間のシンポジウムそれぞれが印象に残りました。シンポジウム1では、発達しょうがいの子をもつ母として、また保育園での勤務経験を思い出しながら保育園の職員目線で考えたりと、色んな思いが溢れました。シンポジウム2では、様々なライフステージでの支援を知ることができ、わが子の将来の不安が解消されていきました。たくさんの情報をいただきました。
- ・シンポジウム1で多職種の方の活動を知る機会となりました。発表後のディスカッションを伺えたことは有意義でした。ベクトルを同じ方向にあると感じました。
- ・フィーリングアーツは1枚の絵の様々な変化それをみる人それぞれが違う体験をする不思議なひとときでした。癒やされました。
- ・当事者の視点を様々教えて頂きました。
- ・それぞれが自分を出せてそれを生かせる社会に向け、今回のような活動をされている方々の活躍を知れてよかった。
- ・フィーリングアーツは眠くなってしまいましたが、演者の北川先生がそれで構わない、と言ってくださって、気が楽になりました。フィーリングアーツも、シンポジウムⅡもおもしろかったです。そのため7の問いは、迷いました。刺激と記憶の残り方、そこにはそうする理由がある、違うことがわかる（ということが大切みたいな感じ）、笑顔になる、などのことについて、それぞれの発表や講演で繋がっている感じがしたことが印象に残りました。自分にとってわかりやすい説明の仕方の方（発表者、演者）が多かったので、聞いていて色々なことをぼんやり考えたりできました。
- ・話している人の気質。
- ・働き手が不足する中、発達障害者も「活躍できる環境づくり」が、今後ますます重要となると感じました。その仕組みをいかに作っていくかが課題であると思います。
- ・発達しょうがいではなくても、相手を尊重する、感動を伝える、気質に応じた適材適所など、家族、学校、社会ではとても重要だなと感じました。

## 《今後の大会のテーマや演題についてのご要望について》

- ・死生観や終末期ケアを取り上げるのはいかがでしょうか？ 病と死を怖れるよりも 生かされた生命を活かすことで 生命の連続性を感じ 病や障害があっても人生の最期の瞬間まで健康の主体者として幸せに暮らすことが SAT の活用で叶うような気がしています。
- ・オリイ姫開発者の吉藤健太郎さんのお話を聞いてみたいです。カウンセリングルームへ行かなくても、オリイ姫で対応できそうな感じがするんです。宜しくお願いします。
- ・SAT を体験した方の声をじっくり聞けて、資料をじっくり見れたら駆け足に感じなかったかもしれません。
- ・SAT に関わるテーマ。
- ・SAT の素晴らしさを広めるための活動について。
- ・あきらめや恐怖、依存などの人間の心や行動について理解を深めたいと思いました。
- ・小児科にいるときに学習障害の子どもがきていました。昔だったら発達障害なんていわれていないだろうなという思いで対応していました。ここで個人の個性と聞いて納得しました。今回参加出来て良かったです。

- ・今回の発達しょうがいテーマとすれば、今学会の発表に留まらず、地域を越えた支援先の繋がりと情報があればよいと思った。
- ・以前、対面の会場でコースに分かれて体験コーナーがあったことを思い出しました。 自主的ワークショップコーナー（？発表者に任せる形式）があってもいいのかも、とふと思いました。でもこれは大会テーマや学会にあう（？）かどうかとか、営利ではないのかなど事前に確認することが必要なのかもしれないと思い、運営の方の負担が大きい気もするので、違うかなとも思っています。
- ・ひきこもりを理解するやその支援について。元当事者のお話もお伺いしたいです。

## 《学会大会に参加しての気づきや感想、意義などについて》

- ・SATに触れると思いがけず深い気づきが得られることしばしば。今回もそうでした。水色の気分（あきらめ）がすーっと晴れた気がしています。ありがとうございました。ヘルスカウンセリングのお蔭様で今の私があると思っています。現代医療で根本治療が難しく対症療法しかできず慢性的な症状にお悩みの方は簡易版光イメージ法だけでも試してもらえたらと思っています。
- ・シンポジウムでは神経発達症の方の特性をうまく発揮させることができれば、いろんな可能性があるんだと思いました。デイズニーアニメーション製作でも、ASDを持った人の合理的配慮をして仕事をさせた結果、すごく細かい作業をしっかりとってくれたそうです。日本全体でSAT療法をもっと活用してもらえたら、リモートワークが可能になって就労率がアップするのではないかと思います。
- ・とても刺激になりました。たくさんの個性の方が増えてることは感じていますが この先どうしていくに対しては 答えがなく毎日が過ぎるばかり 今回 とても柔軟な考えになり私自身 いろんな方とのコミュニケーション変わると思います。ありがとうございました。
- ・自分のカメラや祖先と似ていると感じる発表もあり、次の日、首の寝違えと熊がたくさんで闘う夢を見ました。解放がおきたと感じました。岩波先生の講演はとても感じるものがありもっと聞きたいと思いました。石田先生の空のケアは、耳が遠い高齢者にも顔文字や字を大きくしたら体験できるのではないかと感じました。難しい、高度なものを感じる時もある SATが宗像先生や先生を取り巻く先生方の発想で、もっと小さな子やお年寄りに受けてもらったら良い世界になるのではと。自分の小さな時に受けたら孤独感が和らいだのではないかと感じました。参加して良かったです。はじめの zoom でしたが、他にもいろんな世界の方と繋がってみたいと思えた内容でした。お礼まで。
- ・テーマが時代にも私にもピタッと合っている！と期待して参加させていただきました。内容は期待を大きく超える、大充実の2日間でした。発達しょうがいをもつ子どもの母として、医療者として、SATとの繋がりを感じながら学び、沢山の情報も得ることが出来ました。愉しくてあっという間でした。スタッフの皆様どうもありがとうございました。
- ・神経発達症（発達しょうがい）の方と関わる場所や関わり方など、いろいろあることを知り貴重な学びになりました。ありがとうございました。
- ・新しい情報を頂ける有意義な時間だったと思います。ありがとうございました。
- ・引っ越し等お忙しい中の学会大会開催大変だったと思います。紙代印刷代などの値上げなどのお話しありましたが、資料すべてメールで添付方式に変えてはいかがでしょうか。海外にて以前からその様式ですが、まったく支障はありません（少し前におくっていただければ）。
- ・毎回楽しみにしています。今回のテーマは、個人の個性をどう活かすのか（発達しょうがい）に焦点をあてておられ、特に期待していました。得られた知見を元に、自分にできることに取り組んでいきたいと思っています。ありがとうございました。
- ・皆さん生き生きとされていて元気をいただきました。宗像先生のSAT療法がもっと世に広まればいいなと思います。